



未来にわたり住み続けたいまちをつくる

食べる・遊ぶ・笑う子ども食堂

## 2/22(土) 第7弾となる富田わくわく 子ども食堂を開催します！

富田わくわく食堂は地域に住む子どもからお年寄りの方までがごちゃごちゃに交わる交流の場所で誰でも参加できる共生型食堂です。

昨年の「防災」に続き、今回のテーマは「未来にわたり住み続けたいまち」です。このテーマには一昨年の大阪府北部地震被災をうけて富田地域の市営住宅建替事業、そして新たなコミュニティ再生への願いが込められています。

昨年は延べ 1,260 名もの方にご来場いただきました。これまでも地域・家庭・学校・行政・大学・企業との連携によって実施していますが、今回はさらにパワーアップ。これまでの団体さまに加え、NPO 法人全国子ども食堂支援センター・むすびえ様(代表湯浅誠さん)のご協力をいただき、吉本興業株式会社のお笑い芸人さん、東京おもちゃ美術館さんのご協力を頂き実施します。是非、お越してください！



子供の未来応援国民運動



# わくわく子ども食堂は NPO 法人全国子ども食堂 支援センター・むすびえ(代表・湯浅誠)ともコラボ開催

吉本芸人さんによる「遊ぶ・笑う」コーナーも



日時 2月22日(土) 11時～午後3時  
場所 高槻市立富田ふれあい文化センター  
地下小&大ホール  
\*高槻市富田町 4-15-28 TEL 072-694-5451  
社会福祉法人つながり「サニースポット」  
\*富田ふれあい文化センター北隣

参加費 無料 \*お昼のカレーは有料です  
※くわしくは同封ちらしをご覧ください。



舞台(11時～12時半 大ホール)

「マイタウンミーティング」富田小4年生発表・  
親子で学ぶお口の健康のお話など



コーナー(11時～午後3時)

「遊ぶ・笑うコーナー」吉本興業・東京おもちゃ  
美術館・「よちよちコーナー」など



## 01 「未来にわたり住み続けたいまち」へ 多セクターとの協働で提案書を高槻市へ提出



「一刻も早く安全な場所で住みたい」。大阪府北部地震被災後、住民の切実な思いに突き動かされる形で長期的なコミュニティ再生事業「未来にわたり住み続けたいまち」が始まりました。

この事業は「住まい編(市営住宅の建替)」と「まちづくり編(長期的なコミュニティ再生)」の二本柱で行っています。

「住まい編」では数度にわたる入居者等ワークショップで出された住民の声に加え、富田小マイタウンミーティングやパートナー協定先である大阪大学大学院人間科学研究科のみなさんのご協力も得て子どもから高齢者、障がい者、外国籍住民など多様な声を集約。「提案書」として12月に高槻市に提出させていただきました。

## 02 地域から広がる子どもの第三の居場所 —高槻市民協働プラザ主催 WAKWAK が共催—

高槻市市民公益活動サポートセンター(協働プラザ)が主催、タウンスペース WAKWAK 共催、平安女学院大学高槻の子ども食堂研究班の協力で 12月14日(土)午後1時から高槻市生涯学習センターで市民向け講座が開催されました。

一部では「子ども食堂増加の背景にある子どもの貧困・第3の居場所の必要性」についてタウンスペース WAKWAK 岡本工介事務局長が基調講演。



引き続き、平安女学院大学調査研究班から「高槻市の子ども食堂の現状と課題」について調査結果を報告いただきました。

二部は原純子(国立成育医療研究センターアレルギーセンター研究補助)さんをコーディネーターに招き「富田ただいま食堂」はじめ「川添子ども食堂」「ひなたぼっこ子ども食堂」「NALK 花みずき子ども食堂」高槻の子ども食堂運営者4団体も加えてトークセッションが行われました。

## 03 府立高槻支援学校宿泊 避難訓練に参加しました



富田地域にある府立高槻支援学校および同校 PTA 防災マスターチームの協力呼びかけを受け 1月18日(土)・19日(日)に開催された宿泊避難訓練にボランティア要員として WAKWAK も参加しました。

今後、福祉避難所開設にむけた検証が引き続き行われます。

## 04 「子どもの貧困」学習会 ご案内

「誰一人取り残さない教育」をテーマに大阪大学大学院からお二人の先生をお招きし「子どもの貧困」と「新たな教育コミュニティ」について考えます。興味ある方ならどなたでも大歓迎です

3月3日(火) 午後6時半～

志水宏吉さん(大阪大学教授)

10日(火) 午後6時半～

高田一宏さん( " 教授)

場所 富田ふれあい文化  
センター2F 研修室

資料代 500円



(写真) 志水宏吉さん

## 05 ボーダレスアート展を開催



フェスタ・ヒューマンライツと同時開催で 12 月 1 日(日)・2 日(月)の両日にボーダレスアート展を開催しました。ボーダレスアート教室「わんだーぼっくす」受講生の作品に加え、今年度は大阪市東淀川区にある「西淡路希望の家」からも特別出展いただき、多くのご来賓の皆様はじめ 193 名の方にご来場いただきました。ありがとうございました。

## 06 社会的養護の子どもたちへのボランティアスタッフ研修が終了

この研修も 10 年目となり、大学生から関わり、社会人となったメンバーや大学生など総勢 23 名が参加し 10 月から計 4 回開催。

児童養護施設の子どもたち対象の自然体験プログラムは摂津峡野外キャンプ場で 2 月 8 日(土)・9 日(日)に開催いたします。



## 07 「未来にわたり住み続けたいまち」冊子が完成

富田小学校の子ども達がマイタウンミーティングとして取り組んだ「未来にわたり住み続けたいまち」が冊子となりました。チャリティグッズとして販価 500 円で販売します。購入を希望される方は是非ご協力下さい。



## info(皆様への支援のお願い)

当法人は、子どもの居場所づくり事業、コミュニティ再生事業をはじめとするすべての社会貢献事業を現在、行政からの受託を得ることなく運営しています。

これらのプロジェクトを持続可能なものとしていくため皆様ぜひ応援してください。

○会員となり応援する一年額(1口)ー

正会員 (団体) 1万円 (個人) 5千円

賛助会員 (団体) 1万円 (個人) 1千円

お振込先 ゆうちょ銀行

口座記号 00990-6 口座番号 201524

加入者名 タウンスペース WAKWAK

○クレジットカードによるオンライン寄付サービスも導入しています。

(編集後記)

次年度に向けての事業計画を策定中です。地域経営という視点から持続可能な組織運営とそのための方財基盤が不可欠です。皆様の一層のご支援をよろしくお願ひいたします。